

第158回 定時株主総会



2017年6月23日
株式会社巴川製紙所

会議の目的事項

報告事項1.

第158期(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)
事業報告の内容、連結計算書類の内容並びに会計監査人
及び監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件

報告事項2.

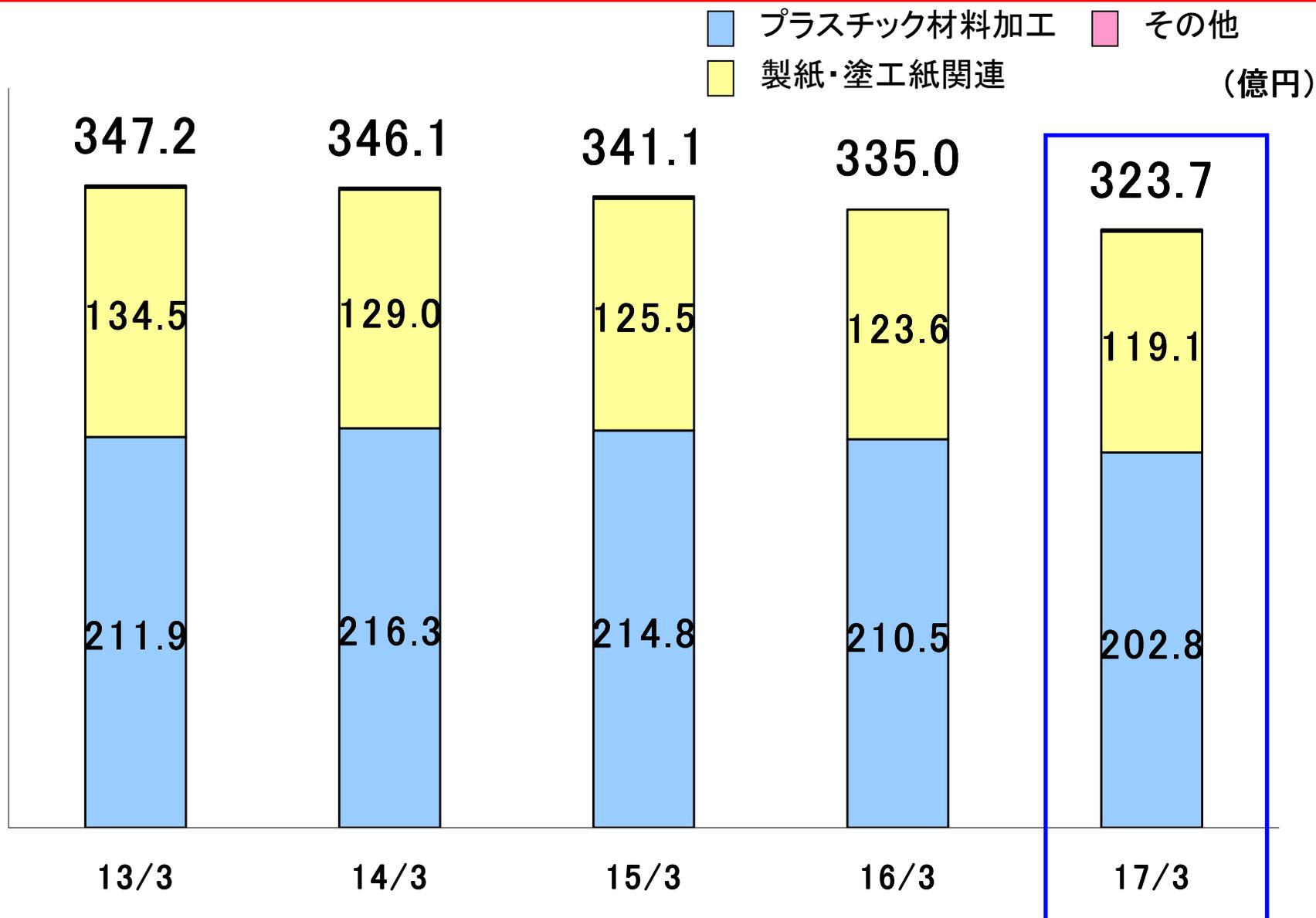
第158期(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)
計算書類の内容報告の件

決議事項

議 案 取締役(監査等委員である取締役を除く。)
7名選任の件

連結売上高の推移

2017/3期の連結売上高は前期に比べ減収の323億7千9百万円となりました。



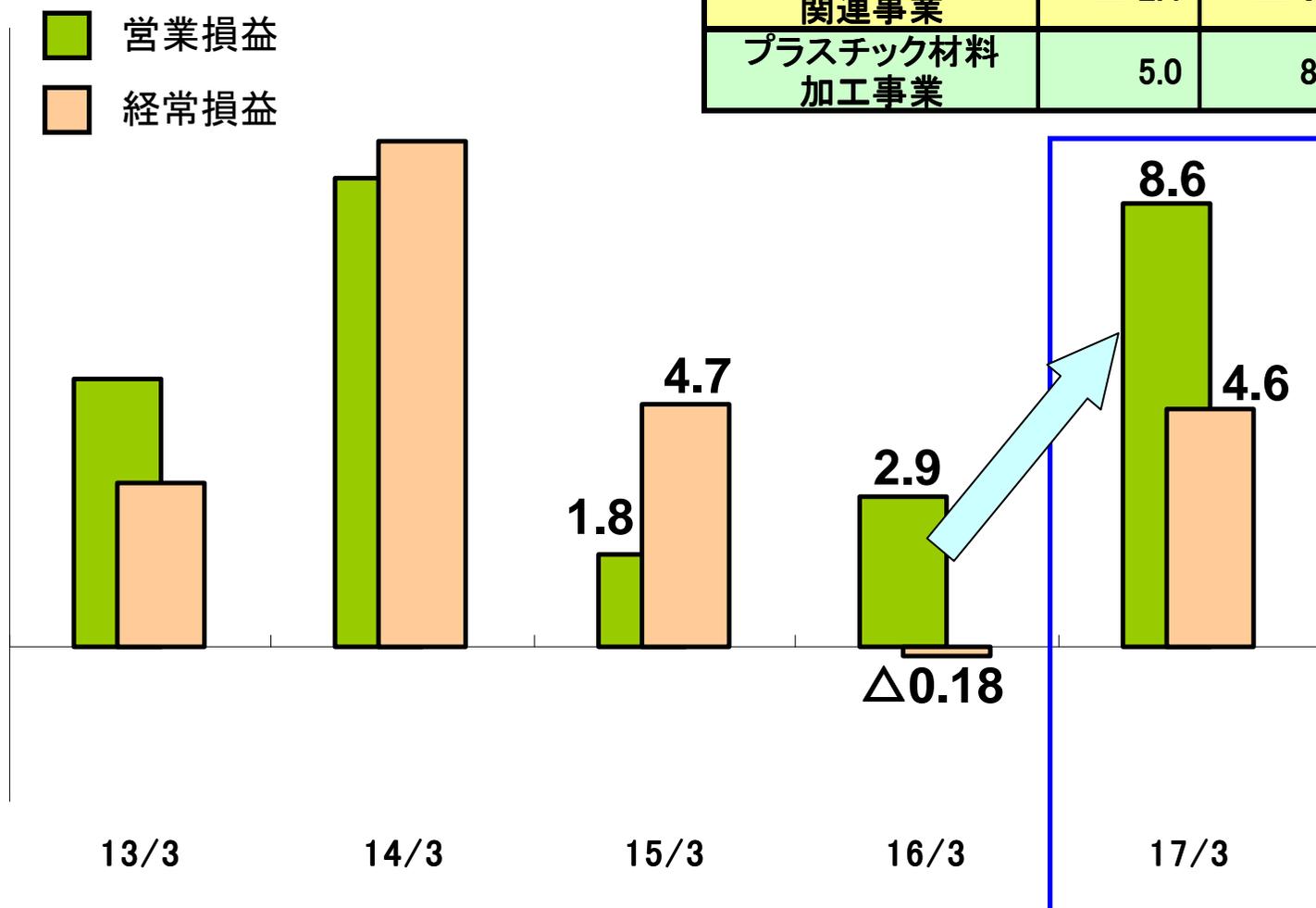
連結営業損益・経常損益の推移

2017/3期は前期と比べ、営業・経常各利益は増益となり、経常利益は黒字転換しました。

(億円)

セグメント別営業損益の状況

セグメント	16/3	17/3	増減
製紙・塗工紙 関連事業	△ 2.4	△ 0.7	+1.7
プラスチック材料 加工事業	5.0	8.8	+3.8



連結損益計算書サマリー

2017/3期は営業利益・経常利益に加え、当期純利益についても前期と比べ、増益となりました。

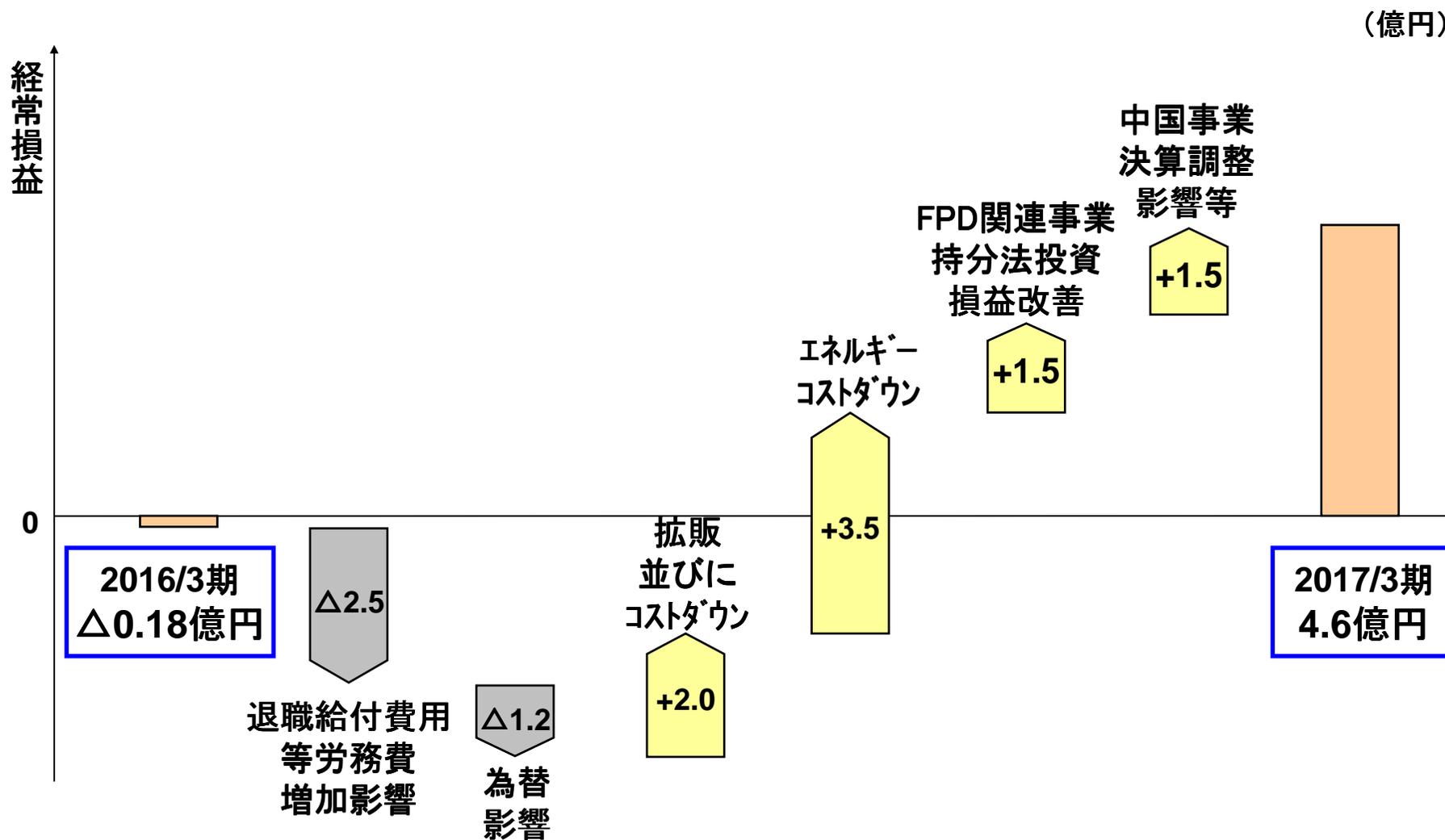
(億円)

	16/3 実績	17/3 実績	対前期 増減
・売上高	335.0	323.7	△ 11.2
・営業利益 (利益率)	2.9 0.9%	8.6 2.7%	+ 5.7
・経常利益 (利益率)	△ 0.1 △ 0.0%	4.6 1.4%	+ 4.8
・当期純利益	△ 9.2	2.5	+ 11.8

注)「当期純利益」は「親会社株主に帰属する純利益」を指します。

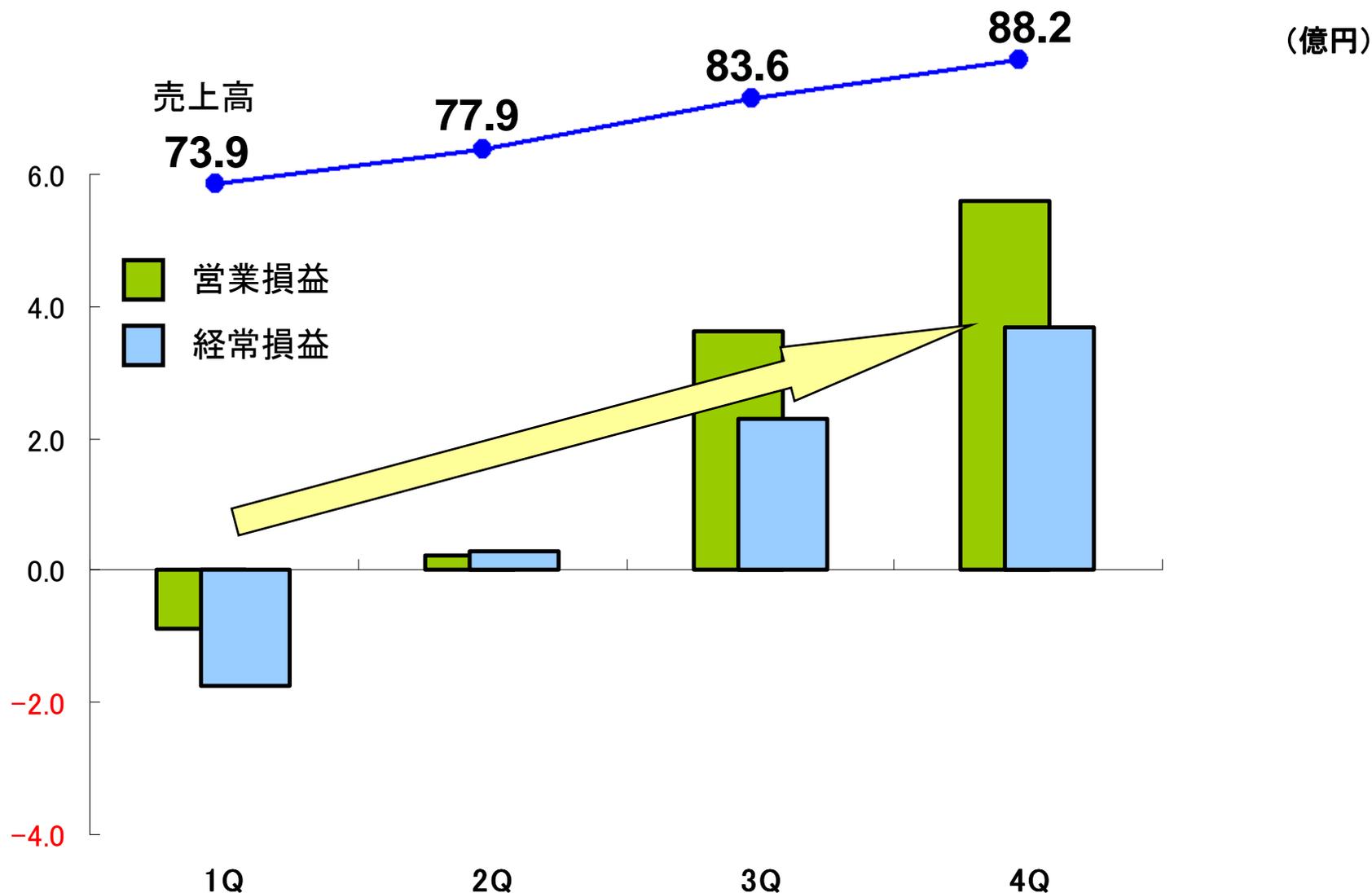
2017/3期業績 経常損益対前期差異

対前期での経常損益改善の主たる要因は以下の通りです。



連結売上高・営業損益・経常損益の四半期別推移

2017/3期後半に向けて売上高が増加する中で生産性向上の効果やエネルギー・調達コスト低減効果が発現した事に加えて、円安、トナ-中国事業の調整のプラス影響により、利益も拡大しました。



2017/3期 要約連結貸借対照表

(億円)

科目	2016/3 期末	2017/3 期末	増減額
資産の部			
流動資産	203.5	200.0	△ 3.5
現金及び預金、売掛金等	105.2	98.6	△ 6.5
棚卸資産	88.5	91.8	3.2
固定資産	190.4	182.7	△ 7.7
有形固定資産	145.8	139.7	△ 6.1
投資その他資産	41.4	40.3	△ 1.1
資産合計	393.9	382.7	△ 11.2
負債の部			
流動負債	171.9	154.2	△ 17.7
短期借入金	59.2	43.7	△ 15.4
固定負債	97.0	95.9	△ 1.1
負債合計	269.0	250.1	△ 18.8
純資産の部			
株主資本	110.3	110.2	△ 0.1
その他の包括利益累計額	△ 0.5	7.0	7.6
少数株主持分	15.1	15.3	0.1
純資産合計	124.9	132.6	7.6
自己資本比率	27.9%	30.6%	+2.7%

2017/3期 要約連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

科目	2016/3期	2017/3期	増減額
営業活動によるキャッシュフロー	16.3	20.5	4.2
投資活動によるキャッシュフロー	△ 15.0	△ 5.3	9.6
財務活動によるキャッシュフロー	△ 5.4	△ 19.1	△ 13.6
現金および現金同等物の増減額	△ 3.0	△ 4.3	△ 1.2
現金および現金同等物の期末残高	31.0	26.6	△ 4.3

当社グループの対処すべき課題

(1) 中期経営計画の遂行

- 熱・電気・電磁波コントロール材料分野への経営資源の積極投入による新製品開発の加速と持続的な成長軌道への回帰
- グローバル目線での生産販売体制強化と赤字事業に対する抜本的対策の遂行

(2) ガバナンス体制の強化

- 内部統制システムの更なる洗練化
- 経営の効率性、透明性及び公正性の確保と更なる充実

(3) 安全な職場環境の整備

- 「安全は利益に優先する」をスローガンに安全活動を推進、労働災害の撲滅を目指し、安全な職場環境の整備に取り組む

第6-2次中期経営計画の 進捗状況

主要課題

- 当社の強みを活かせる熱・電気・電磁波コントロール材料(iCas)関連分野への積極的なリソース投入
- グローバル目線での生産販売体制最適化
- 赤字事業に対する抜本的対策の立案と遂行

当社の強みを活かせるiCas関連分野への積極的なリソース投入

最近開発した製品の一例



銅繊維シート



600°C耐熱
樹脂繊維シート



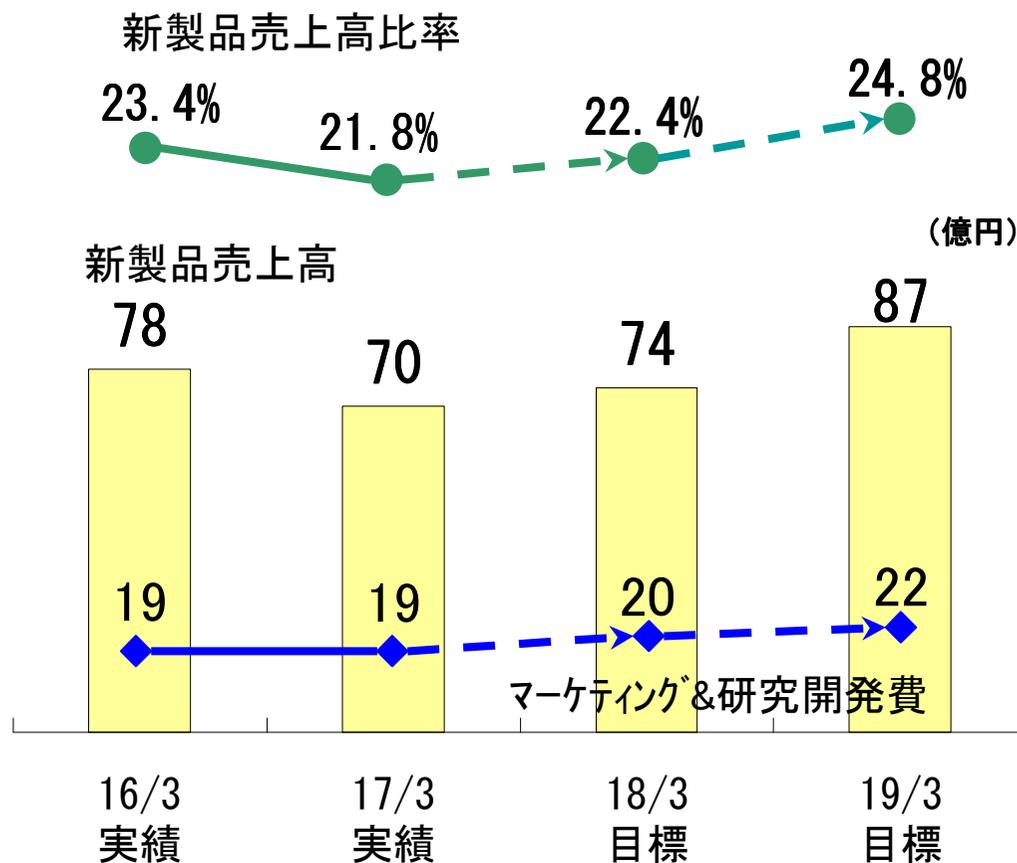
熱伝導粘接着シート



ダイヤモンド研磨シート

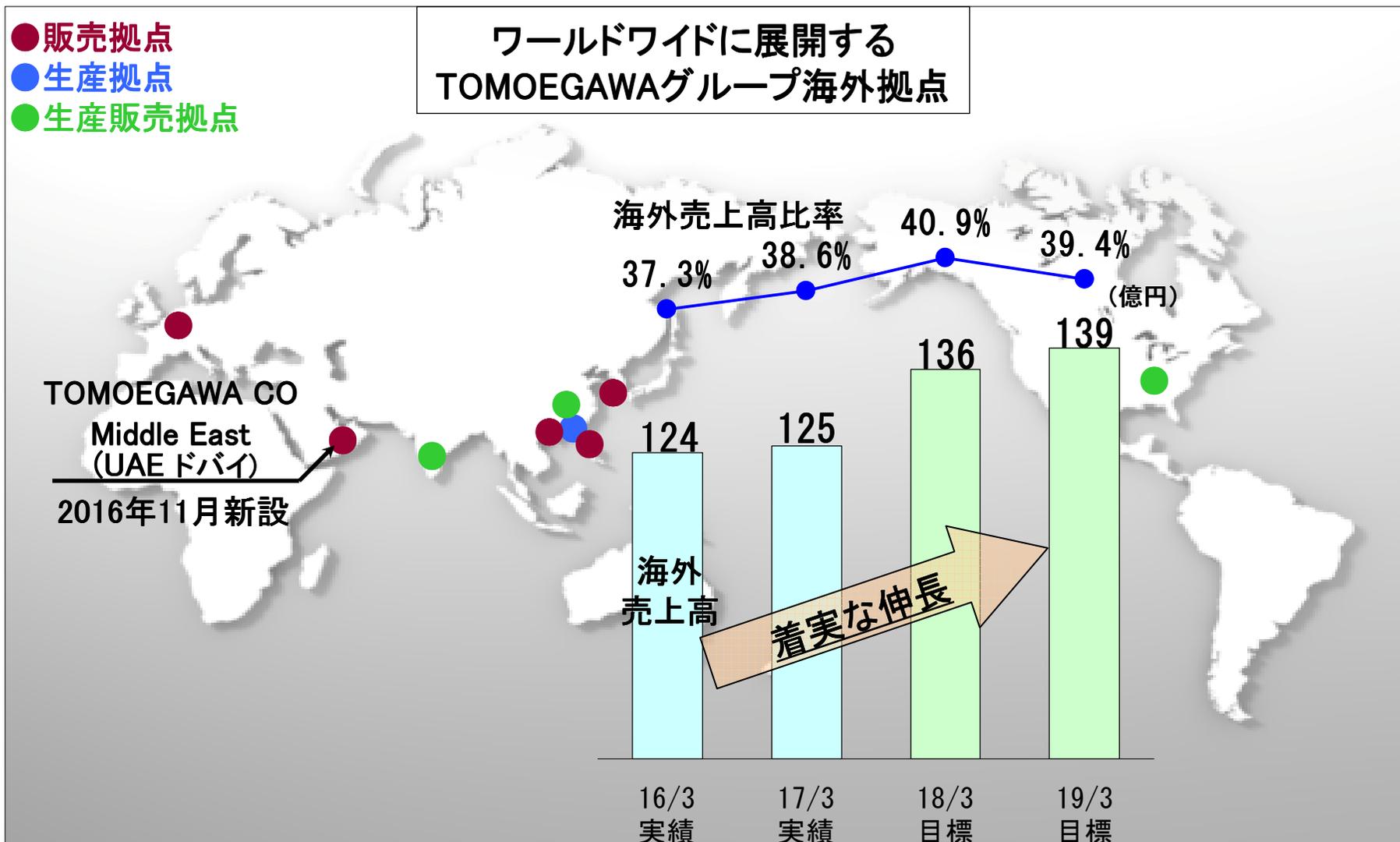


2017年5月24日～26日、パシフィコ横浜にて開催された「人とするまのテクノロジー展」の様子



グローバル目線での生産販売体制最適化

- 「製・販分離」による事業の成長
- 製紙分野での海外市場開拓の推進
- トナー事業における販売戦略の再構築及び最適生産アロケーションの確立



赤字事業に対する抜本的対策の立案と遂行

製紙・塗工紙関連事業

- 設備集約とメリハリのある維持更新投資により持続性のある体制を引き続き検討
- 海外拠点との連携を含めた海外市場開拓
- マーケティング活動の推進と製造ラインの最適化による塗工紙事業の強化

FPD関連事業

- 粘着技術深掘りと海外展開加速による拡販

北米トナー事業

- 生産体制再構築後の製造ラインの更なる効率化

収益目標

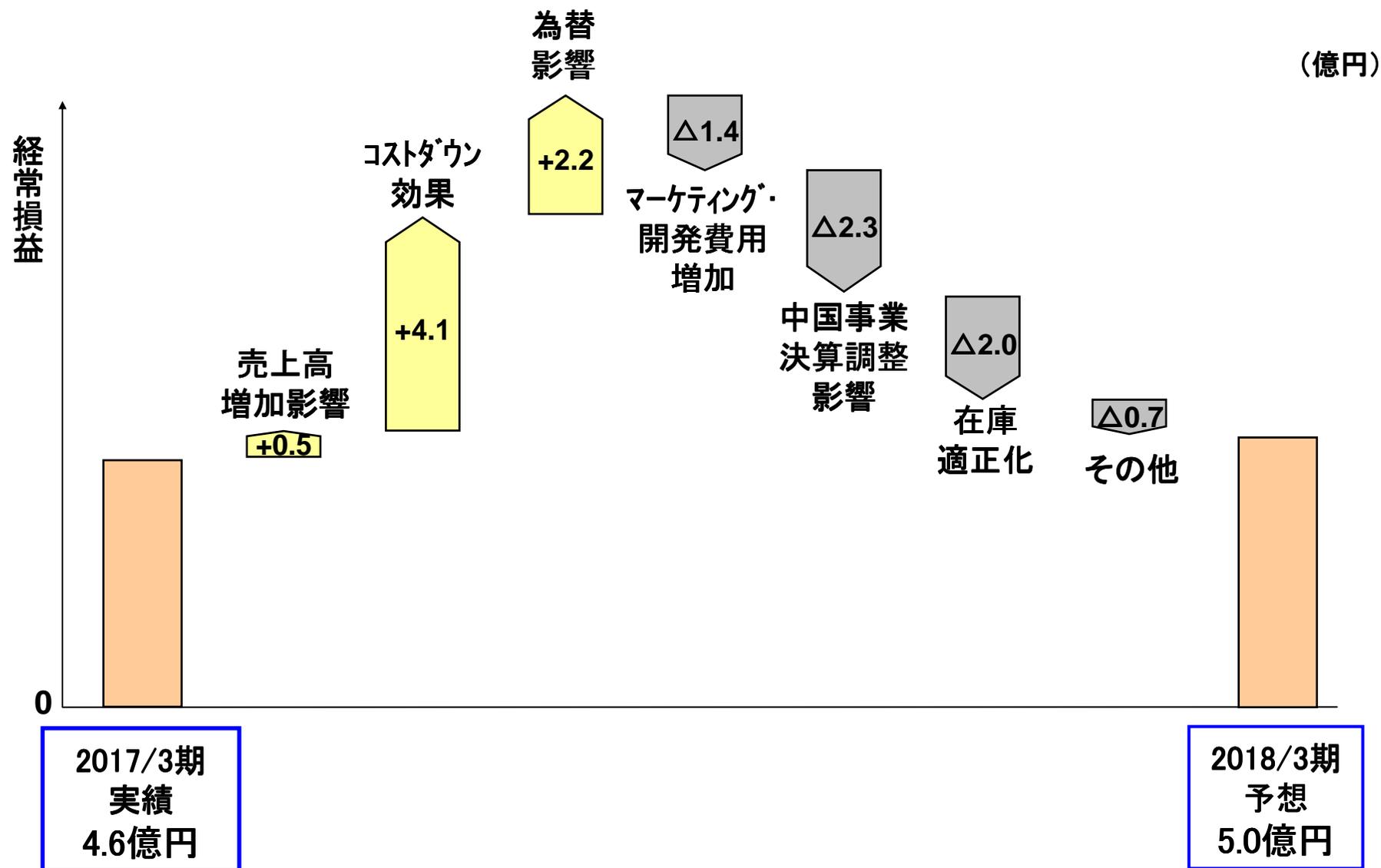
(億円)

	17/3 実績	18/3 目標	19/3 目標
・売上高	323.7	330	350
・営業利益 (利益率)	8.6 2.7%	5 1.5%	12 3.4%
・経常利益 (利益率)	4.6 1.4%	5 1.5%	12 3.4%
・当期純利益	2.5	1	7

注)「当期純利益」は「親会社株主に帰属する純利益」を指します。

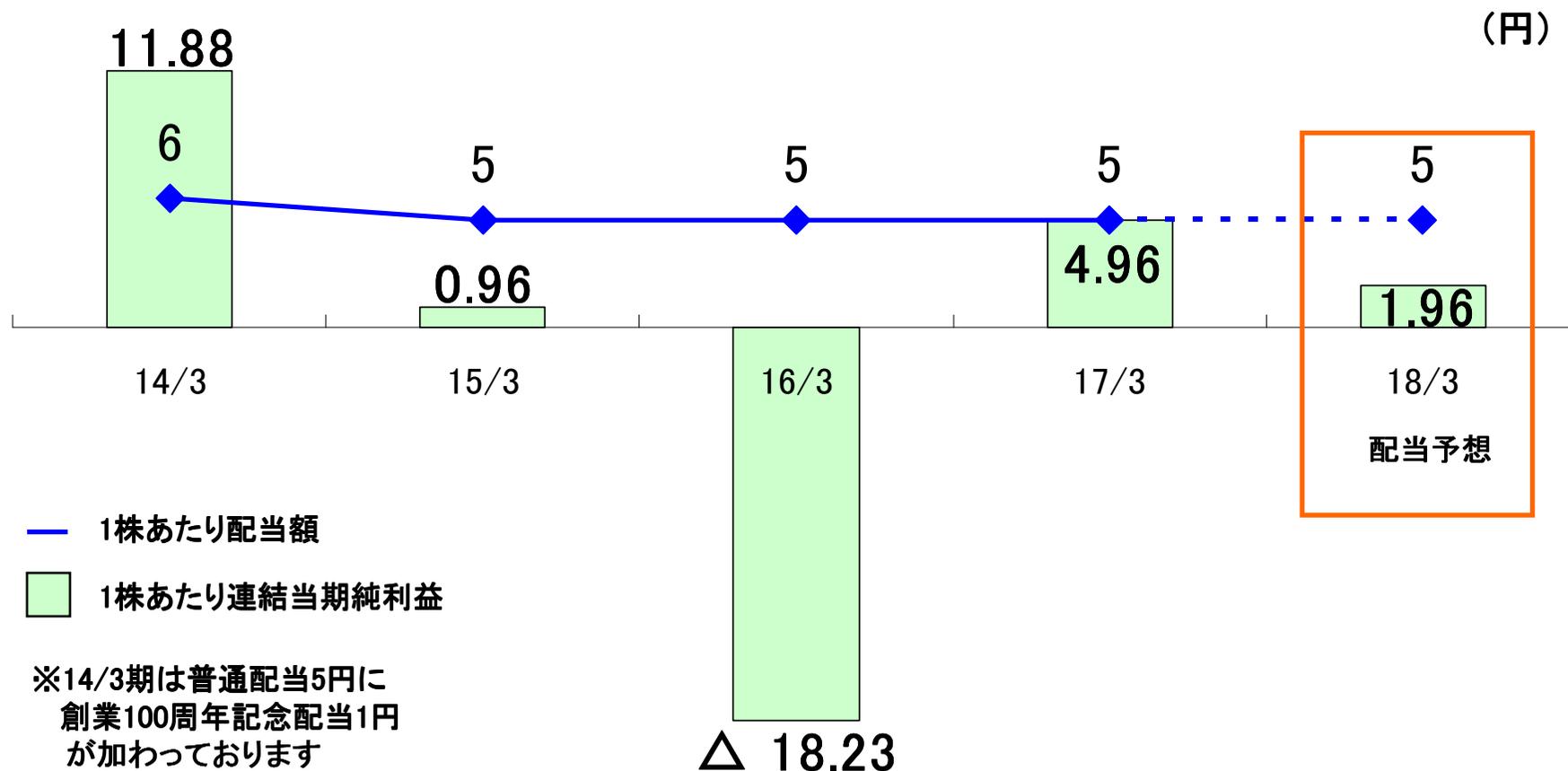
2018/3期予想 経常損益対前期変動要因

対前期での2018/3期経常損益予想の主たる変動要因は以下の通りです。



剰余金の配当について

安定的な配当を継続実施してまいります。



株式会社巴川製紙所
第158回 定時株主総会

2017年6月23日

決議事項の上程

議 案：「取締役(監査等委員である取締役を除く。)
7名選任の件」

株式会社巴川製紙所
第158回 定時株主総会

2017年6月23日

議案

「取締役（監査等委員である取締役を除く。）7名選任の件」

井上	善雄	今田	俊治
三井	清治	畑澤	敏之
山口	正明	井上	雄介
林	隆一		

株式会社巴川製紙所
第158回 定時株主総会

2017年6月23日

質疑応答

- ご発言される株主様は、挙手をお願いします。
- ご発言に先立ち、株主出席票番号をお願いします。

株式会社巴川製紙所
第158回 定時株主総会

2017年6月23日

議案の採決

「取締役（監査等委員である取締役を除く。）7名選任の件」

井上	善雄	今田	俊治
三井	清治	畑澤	敏之
山口	正明	井上	雄介
林	隆一		

株式会社巴川製紙所
第158回 定時株主総会

2017年6月23日

株主の皆様には、引き続きご支援お願い申し上げます。

ありがとうございました。

 TOMOEAWA